

令和7年度 PFOS、PFAS 浄水水質検査結果

採水日	項 目	目標値および単位	検 査 結 果	
令和7年5月8日	ハ°ルフルオロオクタンスルホン酸 （P F O S） 及び ハ°ルフルオロオクタン酸 （P F O A）	0.00005mg/ℓ以下 （50ng/ℓ以下） （暫定）	東大久保浄水場 （ 浄水 ）	0.000012mg/ℓ （ 12ng/ℓ ）
			水谷浄水場 （ 浄水 ）	0.000013mg/ℓ （ 13ng/ℓ ）
令和7年8月7日			東大久保浄水場 （ 浄水 ）	0.000007mg/ℓ （ 7ng/ℓ ）
			水谷浄水場 （ 浄水 ）	0.000009mg/ℓ （ 9ng/ℓ ）
令和7年11月13日			東大久保浄水場 （ 浄水 ）	0.000010mg/ℓ （ 10ng/ℓ ）
			水谷浄水場 （ 浄水 ）	0.000012mg/ℓ （ 12ng/ℓ ）

検査機関	内藤環境管理株式会社
------	------------

PFOS・PFOAとは

ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）とペルフルオロオクタン酸（PFOA）は、いずれも有機フッ素化合物の一種です。独特の性質（水や油をはじく、熱に強い、薬品に強い、光を吸収しない等）を持ち、撥水剤、表面処理剤、乳化剤、消火剤、コーティング剤等に用いられてきました。

有機フッ素化合物による人の健康への影響は、まだ研究段階です。しかし、PFOSやPFOAは安定な構造であるため環境中で分解されにくく、蓄積性を有することから、現在、国内外において製造・使用等が規制されています。

PFOS・PFOAは、令和2年4月に厚生労働省において、水道水の水質管理目標設定項目として、暫定目標値「50ng/L(PFOSとPFOAの合計値)以下」が設定されました。目標値は、「体重50kgの人が、一生涯にわたり1日2Lの水を毎日摂取し続けても、健康への悪影響がないと推定される濃度」として算定されています。